



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 境 克也

TEL 03-5437-8028

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	105,806	0.7	5,227	106.6	6,100	168.2	4,206	318.1
25年3月期第1四半期	105,031	0.7	2,530	△67.7	2,275	△69.1	1,006	△76.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 11,011百万円 (373.8%) 25年3月期第1四半期 2,324百万円 (△56.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	7.36	—
25年3月期第1四半期	1.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	456,066	163,940	34.1	272.21
25年3月期	438,072	155,049	33.5	256.56

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 155,473百万円 25年3月期 146,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	211,000	1.9	6,800	18.4	7,200	53.4	5,400	104.7	9.45
通期	419,100	0.5	17,100	3.3	17,500	8.1	10,700	8.0	18.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	572,966,166 株	25年3月期	572,966,166 株
26年3月期1Q	1,818,621 株	25年3月期	1,813,745 株
26年3月期1Q	571,148,785 株	25年3月期1Q	571,160,530 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、昨年末を底に持ち直しており、いわゆる「アベノミクス」による円安・株高の動きを背景としてその回復基調は持続しているものの、円安によるエネルギーコスト等の輸入品の高騰に加え、中国等の新興国経済の成長鈍化など厳しい状況の中で推移しました。

このような環境でありましたが、当社の売上高は、円安効果による金属・資源セグメントを中心とした増収等の影響により、当第1四半期は、前年同期比7億円(0.7%)増加の1,058億円となりました。

損益面では、エコカー補助金による効果が剥落し自動車関連製品での販売減少がありました。また、薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響、円安効果やそれに伴うたな卸資産の在庫影響による要因(以下「在庫要因」)等により、営業利益は前年同期比26億円(106.6%)増加の52億円となりました。経常利益は、前年同期比38億円(168.2%)増加の61億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産除却損等を特別損失に計上し、さらに税金費用及び少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期比32億円(318.1%)増加の42億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①機能材料

レアメタル価格の低下等により当セグメントの売上高は前年同期比44億円(27.1%)減少の119億円となり、経常利益は5億円(26.4%)減少の16億円となりました。

②金属・資源

亜鉛など主要地金の需要および金属価格は低調に推移しましたが、円安効果等により当セグメントの売上高は前年同期比77億円(24.5%)増加の391億円となりました。経常損益は、円安効果および在庫要因等で、17億円の損失から3億円の利益となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量52千t<共同製錬については当社シェア分>)

鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量18千t)

③電子材料

極薄銅箔は需要が堅調に推移しました。一方で、汎用電解銅箔や金属粉は需要が総じて低調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比12億円(6.7%)減少の180億円となりました。経常利益は、汎用電解銅箔および金属粉の減販があったものの、製品構成の

改善等により微増（5.4%）の8億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

電解銅箔（当第1四半期連結累計期間の生産量8千t）

④素材関連

各製品の需要が総じて堅調に推移しましたが、マイクロサーキット事業の撤退により減収となりました。当セグメントの売上高は、前年同期比6億円（2.1%）減少の290億円となりました。経常損益は、各種製品の販売増加や薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響等により1億円の損失から35億円の利益となりました。

⑤自動車機器

自動車需要は、エコカー補助金の効果が剥落し低調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比29億円（12.4%）減少の207億円、経常利益は16億円（81.9%）減少の3億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

自動車用機能部品（当第1四半期連結累計期間の生産金額183億円）

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期連結累計期間および通期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の業績予想につきましては、当第1四半期実績と第2四半期の為替・非鉄金属価格等の変動要因を勘案の上見直しております。

なお、第3・第4四半期につきましては、現段階で事業環境を見極めることが困難なことから、見直しておりません。

		平成25年9月 第2四半期 累計期間 (予想)	平成26年 3月期 (予想)
売上高	機能材料	23,800	48,400
	金属・資源	73,200	143,300
	電子材料	36,800	73,300
	素材関連	59,200	123,600
	自動車機器	41,800	85,700
	消去又は全社	△23,800	△55,200
	合計	211,000	419,100
営業利益		6,800	17,100
経常利益	機能材料	2,500	4,900
	金属・資源	0	1,300
	電子材料	1,500	2,400
	素材関連	3,900	7,200
	自動車機器	1,000	5,100
	消去又は全社	△1,700	△3,400
	合計	7,200	17,500
当期純利益		5,400	10,700

	4月平均	5月平均	6月平均	4～6月 平均	7～9月 見込	(参考) 前回予想 時見込
為替(円/US\$)	98	101	97	99	98	90
亜鉛LME(\$/t)	1,853	1,829	1,839	1,840	1,850	2,000
鉛LME(\$/t)	2,030	2,028	2,104	2,054	2,100	2,200

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①たな卸資産の評価に係る見積りの変更

当社及び連結子会社の台湾特格股份有限公司において、引き渡し後、未使用部分につき取引先より返却を受ける薄膜材料製品のたな卸資産計上額は、従来、予定返却量の見積りが困難であることから返却時に実績返却量に基づき計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、引き渡し時に過去の実績返却率に基づく予定返却量を見積り計上する方法に変更しております。

この変更は、新生産管理システムを導入したことにより、予定返却量の見積りが可能となったため実施したものであります。

この変更により、当第1四半期連結累計期間の売上原価は1,436百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,202	22,003
受取手形及び売掛金	77,937	75,892
商品及び製品	22,129	23,273
仕掛品	25,696	27,006
原材料及び貯蔵品	24,745	27,575
繰延税金資産	2,319	2,405
その他	11,409	12,984
貸倒引当金	△177	△197
流動資産合計	179,263	190,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	150,486	152,159
減価償却累計額	△99,624	△101,146
建物及び構築物（純額）	50,862	51,012
機械装置及び運搬具	295,515	300,064
減価償却累計額	△243,392	△249,024
機械装置及び運搬具（純額）	52,123	51,040
鉱業用地	501	512
減価償却累計額	△219	△233
鉱業用地（純額）	281	278
土地	33,472	33,644
建設仮勘定	6,578	7,043
その他	49,319	49,847
減価償却累計額	△40,610	△40,820
その他（純額）	8,709	9,027
有形固定資産合計	152,027	152,047
無形固定資産		
投資その他の資産	4,731	4,743
投資有価証券	93,410	98,637
長期貸付金	486	485
繰延税金資産	1,760	2,136
その他	6,549	7,204
貸倒引当金	△157	△132
投資その他の資産合計	102,050	108,331
固定資産合計	258,809	265,122
資産合計	438,072	456,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,547	38,551
短期借入金	70,463	74,158
コマーシャル・ペーパー	10,000	13,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	1,338	1,100
繰延税金負債	0	10
引当金	5,643	4,028
その他	25,668	28,187
流動負債合計	160,661	159,038
固定負債		
社債	40,000	50,000
長期借入金	49,909	49,952
繰延税金負債	2,572	3,184
退職給付引当金	22,086	22,061
その他の引当金	2,678	2,661
資産除去債務	2,458	2,623
その他	2,655	2,604
固定負債合計	122,361	133,087
負債合計	283,023	292,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	90,302	92,734
自己株式	△592	△593
株主資本合計	154,397	156,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	767	1,112
繰延ヘッジ損益	219	672
為替換算調整勘定	△8,849	△3,139
その他の包括利益累計額合計	△7,861	△1,354
少数株主持分	8,514	8,467
純資産合計	155,049	163,940
負債純資産合計	438,072	456,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	105,031	105,806
売上原価	92,166	89,562
売上総利益	12,865	16,244
販売費及び一般管理費	10,334	11,016
営業利益	2,530	5,227
営業外収益		
受取利息	45	33
受取配当金	545	526
為替差益	—	578
持分法による投資利益	118	140
不動産賃貸料	217	258
その他	159	268
営業外収益合計	1,087	1,806
営業外費用		
支払利息	627	575
為替差損	355	—
その他	360	357
営業外費用合計	1,343	933
経常利益	2,275	6,100
特別利益		
固定資産売却益	6	27
投資有価証券売却益	34	—
たな卸資産処分損失引当金戻入額	36	—
その他	28	6
特別利益合計	105	33
特別損失		
固定資産売却損	13	8
固定資産除却損	81	91
災害による損失	19	—
事業構造改善費用	14	151
製品保証引当金繰入額	—	180
その他	88	157
特別損失合計	217	589
税金等調整前四半期純利益	2,163	5,544
法人税、住民税及び事業税	1,183	1,060
法人税等調整額	△224	185
法人税等合計	959	1,245
少数株主損益調整前四半期純利益	1,203	4,298
少数株主利益	197	92
四半期純利益	1,006	4,206

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,203	4,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△496	305
繰延ヘッジ損益	△173	△329
為替換算調整勘定	295	3,828
持分法適用会社に対する持分相当額	1,494	2,907
その他の包括利益合計	1,120	6,712
四半期包括利益	2,324	11,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978	10,713
少数株主に係る四半期包括利益	345	298

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	15,543	22,452	18,413	24,946	23,698	105,054	△23	105,031
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	804	8,996	958	4,755	47	15,562	△15,562	—
計	16,347	31,448	19,372	29,701	23,745	120,616	△15,585	105,031
セグメント利益 又は損失(△)	2,244	△1,792	811	△147	1,999	3,114	△839	2,275

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△810百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	11,434	27,867	17,205	23,861	20,789	101,159	4,646	105,806
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	483	11,300	866	5,218	—	17,869	△17,869	—
計	11,918	39,168	18,072	29,079	20,789	119,029	△13,222	105,806
セグメント利益	1,650	337	854	3,513	361	6,718	△617	6,100

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△495百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び連結子会社の台湾特格股份有限公司において、当第1四半期連結会計期間より、薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積りの変更を実施しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が素材関連セグメントで1,436百万円増加しております。